

万博公園探鳥会

2025年3月8日(土)
 リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
 玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)



I 千里の鳥・万博の鳥「ゴイサギ」

漢字名 五位鶯 学名 *Nycticorax nycticorax*

万博公園探鳥会は昭和 60(1985)年 2 月にスタートし、満 40 年になることを先月号に報告しました。その 2 月探鳥会は大雪警報が出たことで、探鳥会開催を懸念したが、冷え込みが強かったものの鳥たちが良く出て、嬉しい 40 年記念探鳥会となりました。

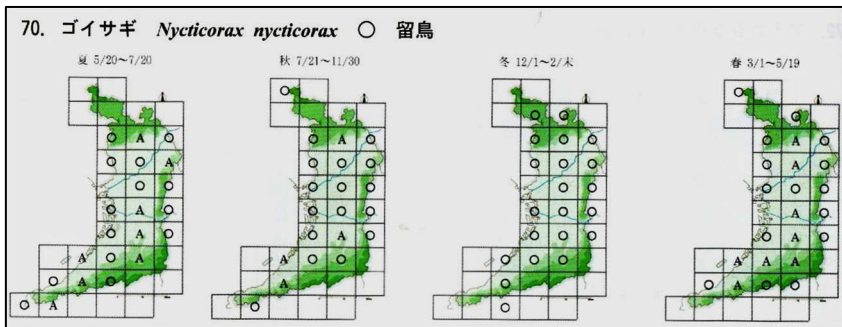
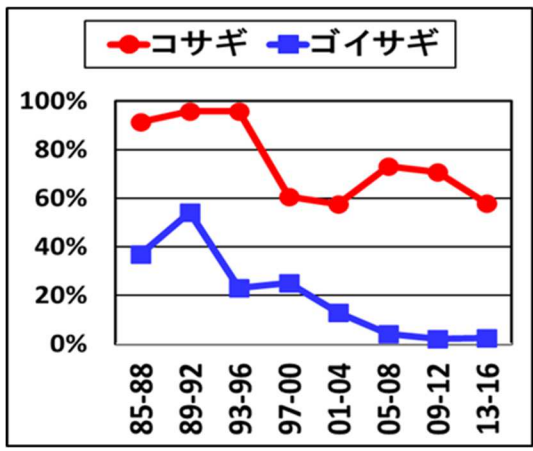
2 月探鳥会で観察したゴイサギはホシゴイと呼ばれている若鳥であった。東方向から「水すましの池」上

ゴイサギ若鳥(橋本昌宗) 空へ飛んできた時、オオタカに急襲され、池に落下した。オオタカの難を何とか逃れることができたと思っただが、水中を岸へ泳いでいた時、今度はカラスに襲われた。何とか池岸の木の下に泳ぎ着き、オオタカ・カラスの難敵から逃げ切ることができた。今回襲ったオオタカ(体長雄 50 cm・雌 58 cm、翼開長 105~130 cm)、襲われたゴイサギ(体長 58 cm、翼開長 105~112 cm)はともに若鳥で体の大きさもほぼ同じ、オオタカに勝算があったかどうかわからない。しかも、後から襲ったカラス(ハシブトガラス:体長 57 cm、翼開長 100 cm)もほぼ同じ大きさの鳥、万博公園では久しぶりのゴイサギが、オオタカ、そしてカラスに襲われるというバトルが目の前で繰り広げられ、観察者はびっくりしたが、引き分けに終わってホッとした。

①万博公園のゴイサギ観察頻度(平:探鳥会記録集約)

万博探鳥会でのゴイサギの観察記録を調べると、前回は 2023 年 6 月、その前は 2013 年 6 月で 10 年間見ていなかった珍鳥レベルの鳥であった。右図で見ると、1985 年探鳥会を開始した頃の観察頻度は約 50%(2 か月に 1 回観察)だったので、ゴイサギ観察の減少が著しい。

その頃、吹田市内にゴイサギが繁殖している池があったものの、今は全く繁殖していないこと、平が担当している枚方淀川探鳥会でも、ゴイサギを見る機会がほとんどないので、各地で観察頻度が低下していることになる。



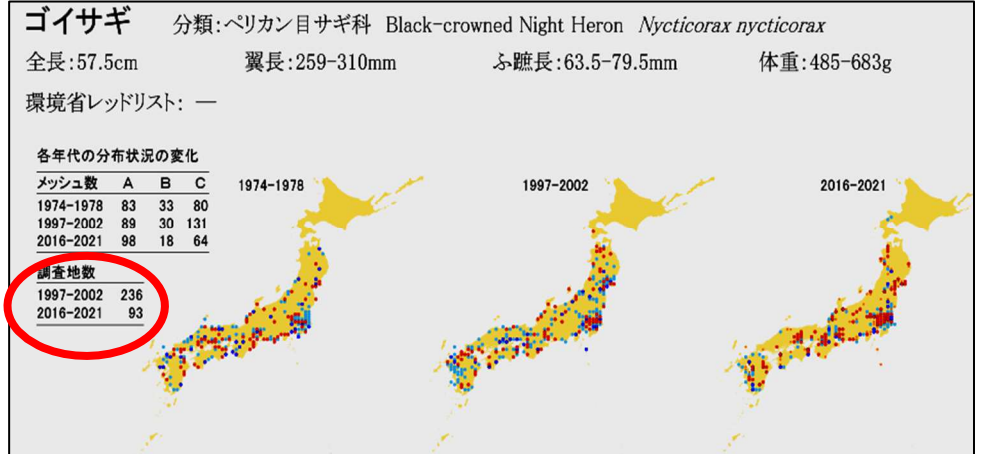
②大阪府のゴイサギ (大阪府鳥類目録 2016)

大阪府ではほぼ全域に繁殖個所があり、一年中生息している。しかし説明文には「各地の川や池に生息し、コロニーも各地にあるが、観察の機会が減っている。ゴイサギが減っているが、アオサギやダイサギの観察例は増加傾向にあり、この関係が注目される。」と記述されている。

③全国鳥類繁殖調査 2021 (鳥類繁殖分布調査会)

2010年代では記録メッシュ数が大きく減少し、1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録を見ても、**236地点から93地点**へと大きく減少しており、減少傾向が顕著である。

2010年代の調査で減少が顕著だった種には小型の魚を食べる種という共通点があるため、**外来魚の増加に伴う小魚の減少や、圃場整備にともなう水田の水生生物の減少**などの影響が懸念される。



④真木・大西 日本の野鳥 590(2000年)平凡社

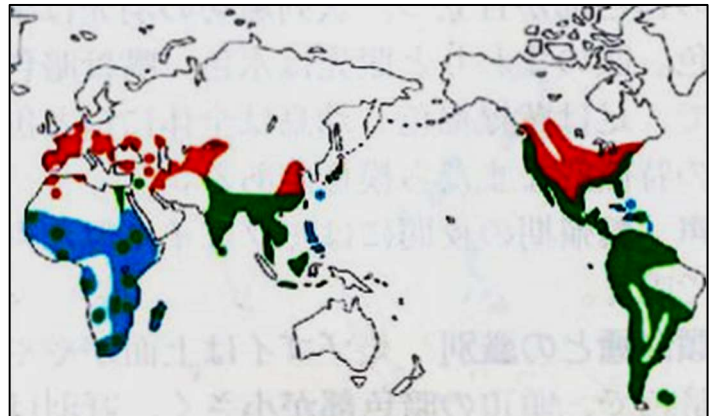
全世界で見た場合は

繁殖地(赤色):北半球中緯度以南

繁殖越冬地(緑色):北半球中南部～南半球

越冬地(青色):アフリカ大陸

カモや冬の小鳥などで見慣れた繁殖・越冬分布図とは違って、不思議な感じがする。



II 先月 2025年2月探鳥会観察結果

冷え込みが強く雪がぱらつくこともあったが鳥はよく出てくれた。

- ①リュウキュウサンショウクイが「渡りの沼」で出て、カラの混群と一緒に動き、何回も観察できたこと
 - ②マンホールから生まれるユスリカをイソヒヨドリが啄んでいたこと
 - ③上述の通り、久しぶりに飛んだゴイサギ(ホシゴイ)に飛びかかったオオタカ
 - ④鳥合わせ時は39種であったが、40周年であり40種を超えたいとの思いから、探鳥会で通らなかった「水鳥の池」でヨシガモ・オシドリ、それ以外にトラツグミ、更にウグイス、セグロセキレイを確認し、観察種数は最終44種となった。
- 写真(橋本昌宗)





カワセミ



キセキレイ



コゲラ



ジョウビタキ



シロハラ



ヒヨドリ



メジロ



モズ



ルリビタキ

II ①リュウキュウサンショウクイ

学名 (第7版亜種名) *Pericrocotus divaricatus tegimae*

(第8版種名) *Pericrocotus tegimae*

漢字名 琉球山椒食

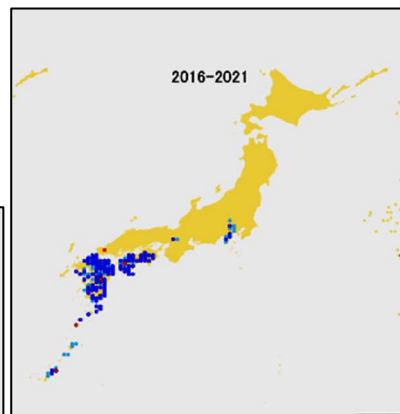
リュウキュウサンショウクイは、もともと屋久島や南西諸島で留鳥であったが、1990年代から九州や四国、最近では近畿などでも生息が確認されるようになっている。そのリュウキュウサンショウクイが、2月探鳥会で全員がゆっくり観察できた。

このリュウキュウサンショウクイは、日本産鳥類目録リュウキュウサンショウクイ(橋本昌宗) 第7

版(2014年)までサンショウクイの亜種とされていたが、昨2024年9月に発行された第8版では、先月紹介したツグミと共に独立種となった。

現在販売されている図鑑の分布図はサンショウクイとして表示されていることからリュウキュウサンショウクイの生息範囲は分からないが、**全国鳥類繁殖調査2021(鳥類繁殖分布調査会)** → は、最新の2016年～2021年についてのみ、リュウキュウサンショウクイを独立して表示されており、九州・四国で普通に繁殖している。

更に、**全国越冬分布調査(バードリサーチ・日本野鳥の会)2016-2022** では、サンショウクイの越冬地が中国・近畿・関東とリュウキュウサンシ



ヨウクイの繁殖地より広がっている。

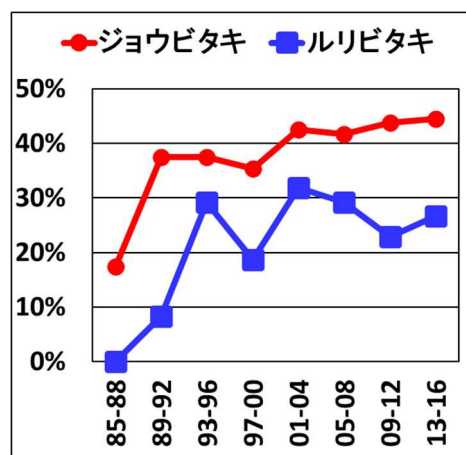
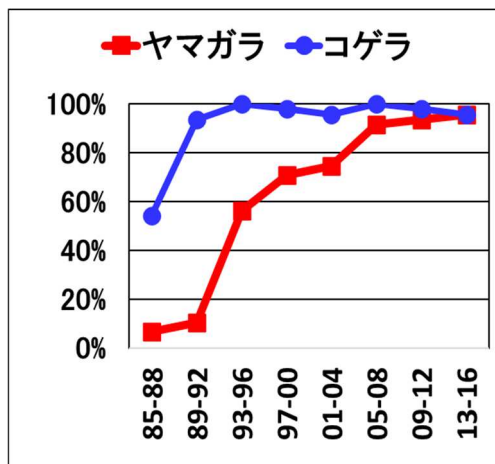
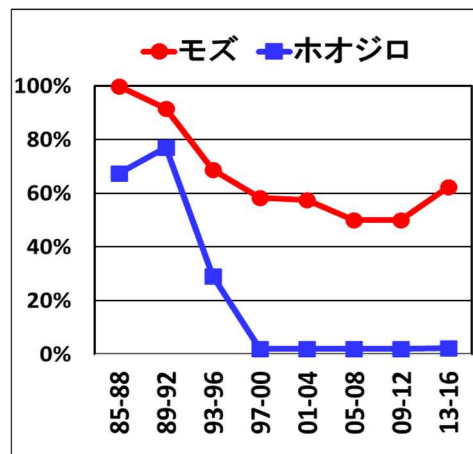
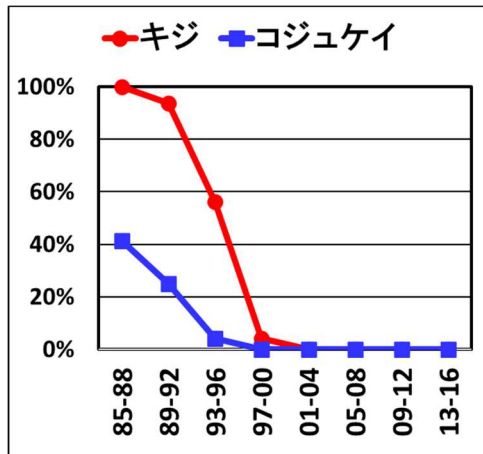
万博公園では2020年12月18日に有賀氏によりリュウキュウサンショウクイが確認されており、千里タイムズ2021年1月号に掲載している。その後万博公園での繁殖は確認されていないが、今後はどうでしょうか。

II②オオタカ オオタカは万博公園で2007年～2014年に繁殖・子育てをした。その後2023年にも繁殖・子育てをしたが、幼鳥が木から落下し、全うできなかった。
今回観察したオオタカ若鳥は、冬の間の餌場として、万博公園にいたと思われるが、繁殖期までこのまま園内に残って、営巣行動に入るかどうか注目したい。



**** (万博公園探鳥会 40周年特集 No 2) ****

III 万博探鳥会での観察頻度(%) (上段 草原の鳥 下段 林の鳥)



万博公園で確認された最後のキジ
20120419 廣瀬達也氏
(春の渡り鳥調査時)

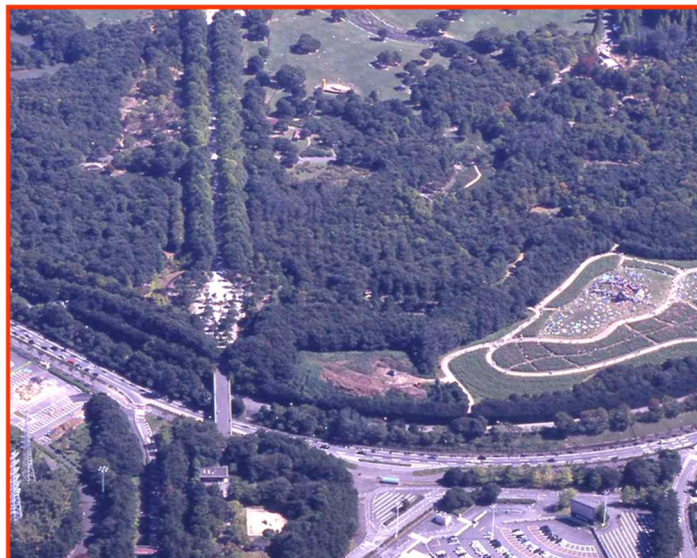


IV① 自然文化園 空中写真の変化 (キジが何故いなくなった)

1981 年



1992 年(?)



IV② 自然文化園 景観変化

1970 年代前半

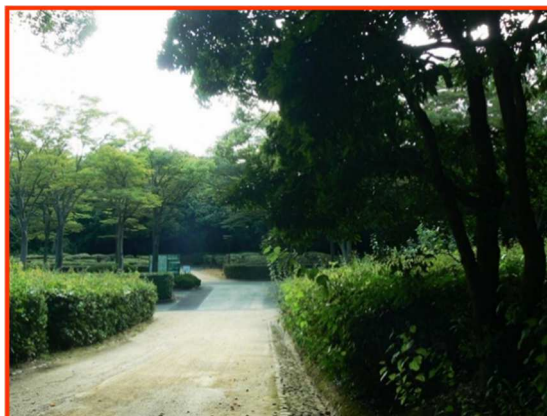
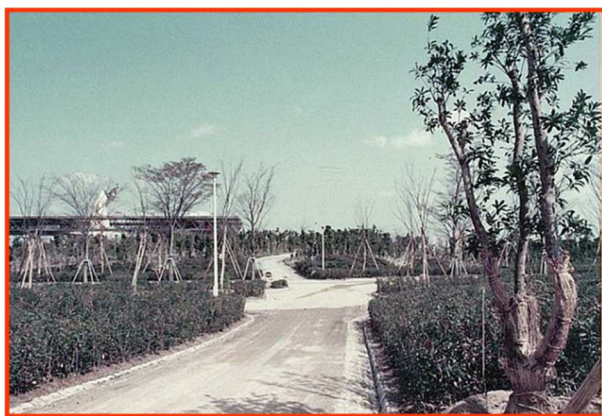


2010 年代前半(?)



(けやきの丘交差点)

(上津道・千里橋通り交差点)



V 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024					2025					大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	11 9	12 14	1 11	2 8	3 8	
1	24	オシドリ	2	2	25						2		24
2	26	オカヨシガモ								27	7	1	26
3	27	ヨシガモ									2	2	27
4	28	ヒドリガモ											28
5	30	マガモ	2				2						30
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	4	28	26	28		32
7	35	オナガガモ											35
8	38	コガモ											38
9	42	ホシハジロ			1								42
10	46	キンクロハジロ	1	2					1	4	4		46
11	58	ミコアイサ											58
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	8	3	13	7		62
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	3	6	7	6		74
14	78	アオバト		5	1								78
15	127	カワウ	3	6		8	7	1		1	1		127
16	139	ゴイサギ									1		139
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	1	2			144
18	146	ダイサギ		1	1						1		146
19	148	コサギ		5	2	3				1	4		148
20	166	クイナ											166
21	174	バン								1			174
22	175	オオバン							1	5	4	4	175
23	187	ツツドリ											187
24	192	アマツバメ											192
25	195	ケリ											195
26	202	イカルチドリ											202
27	203	コチドリ											203
28	219	タシギ	2	2	2	2					1		219
29	244	イソシギ											244
30	286	ユリカモメ											286
31	339	ミサゴ	1	1					1		1		339
32	340	ハチクマ											340
33	342	トビ		1			2		1		1		342
34	354	ツミ											354
35	355	ハイタカ	3	1	1				3	1			355
36	356	オオタカ	1	4							2		356
37	357	サシバ											357
38	358	ノスリ			1	1			1				358
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	4	6	6	3		383
40	388	アリスイ											388
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	3	4	5	5		390
42	401	チョウゲンボウ	1	1	1								401
43	407	ハヤブサ											407
44	412	サンショウクイ								1	1		412
45	418	サンコウチョウ											418
46	420	モズ	2	1	1				3	1	5	3	420
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	9	21	4	8		435
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	57	54	127	52		436
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	3	7	4		442
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	12	14	18	34		445
51	457	ツバメ				6	27						457
52	459	コシアカツバメ					3						459

万博 NO	大阪 NO	種名	2024					2025					大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	11 9	12 14	1 11	2 8	3 8	
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	67	98	68	72		463
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	3	3		1		464
54	465	ヤブサメ											465
55	466	エナガ	8	9	6	2	6	18	11	7	3		466
56	476	オオムシクイ											476
57	477	メボソムシクイ											477
58	479	エゾムシクイ											479
59	480	センダイムシクイ						1					480
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	16	8	16	16		485
61	492	オオヨシキリ											492
62	501	ヒレンジャク											501
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14		14	4	5		506
64	508	コムクドリ											508
65	514	トラツグミ		1							1		514
66	521	シロハラ	1	3	4	8		2	3	26	20		521
67	522	アカハラ				3		1					522
68	525	ツグミ	136	3	44	35			25	8	14		525
69	530	コマドリ											530
70	536	ルリビタキ			1						2		536
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1		11	8	11	11		540
72	542	ノビタキ											542
73	549	イソヒヨドリ		1	1				2		2		549
74	552	エゾビタキ											552
75	554	コサメビタキ				2							554
76	558	キビタキ				1	1						558
77	561	オオルリ											561
78	568	ニューナイスズメ				11							568
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	57	28	44	42		569
80	573	キセキレイ						1			1		573
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	17	21	13	10		574
82	575	セグロセキレイ	4	2		1		1	1		2		575
83	580	ビンズイ											580
84	584	タヒバリ											584
85	586	アトリ	18	31	32	2		5	38	52			586
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	1	19	10	26		587
87	600	シメ	8			2				1			600
88	602	イカル					3	4		14	4		602
89	610	ホオジロ											610
90	617	カシラダカ											617
91	624	アオジ	2		2	2		3	2	6	8		624
92		ドバト	○	○		○	○	○	○	○	○		
93		ソウシチョウ							1	5			
94		カッコウSP											
95		ムシクイSP											
96		タカSP											
97	37	トモエガモ	3										37
98	251	トウネン											251
99													
種類数(種)			36	39	36	37	26	28	35	36	44		
個体数(羽)			538	398	369	268	250	336	429	513	468		
天候			晴	晴	曇	晴	晴	晴	曇	晴	晴・雪		
参加者数(人)			23	34	35	31	30	33	27	23	18		

VI 来月の万博公園探鳥会 3月8日(土)

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール g.0501.hi@gmail.com への連絡でも OK。